

暑さに負けず！

健康スポーツ教室

7月9日に社会体育館で、健康スポーツ教室が始まりました。この教室は、自分の健康について考えることや相互交流による仲間づくりが目的。開講式終了後、ふるさとの広場に移動し、パークゴルフが行われました。暑い中、29名のかたが参加し、パークゴルフを楽しみ、笑い声が広場中に響き渡りました。



止まってよく見て確認

プラカード作戦



館林地区交通団体連絡協議会では7月13日、館林交通安全協会役員の協力を得て、「止まってよく見て確認」「わき見運転注意」などと表示されたプラカードを持ち、交通安全の啓発を行いました。町内初のこの作戦は、通勤者に対する交通安全意識の高揚が目的。町内では、約20人の役員が朝の通勤時間帯に合わせて田島地内と大佐貫地内の国・県道の2か所に分かれ、ドライバーに交通事故防止を呼びかけました。

入館者が40万人達成

老人福祉センター



40万人目の 藪部さん(左から4人目)

お年寄りの憩いの場となっている老人福祉センターの利用者が7月16日、昭和62年4月のオープン以来17年4か月で40万人を迎えました。同センターは、昨年度に2万4、936人、1日平均93人が利用。会場では、40万人目と前後4人の来場者に斎藤町長から記念品が手渡されました。40万人目となった千津井の藪部きくさんは、「友達と話しをしたりカラオケをするのが楽しみで毎日来ています」と話していました。

鮮やかな包丁さばき

魚のさばき方教室

7月7日、大泉町でお寿司屋を営む斎藤近志さんを講師に迎え、中央公民館で魚のさばき方教室が開かれました。教室では、大宮の市場で仕入れた新鮮な鮪子のアジを使い、三枚下ろしやたたき、お寿司など新鮮なアジを無駄なく使う調理方法や魚のさばき方を学びました。12人の参加者は、斎藤先生の丁寧な指導のもと、鮮やかな包丁さばきを見て驚くなど、和やかな雰囲気の中、手際よく調理していました。

